

## 第11回 主任級職員研修 の御案内

東北地方の地方公共団体には、人口減少、少子・高齢社会への対応やデジタル化の推進等の様々な課題への対応が求められており、若手職員も主体的・積極的に業務に取り組む必要があります。

この研修では、若手職員を対象に政策形成の基本に関する講義・演習、データ取得のツールのひとつである地域経済分析システム(RESAS) 演習に加え、法的裏付けとなる政策法務、政策立案推進に必要なコミュニケーション・プレゼンテーション、地域経済活性化等の講義・演習・グループ研究(現地調査を含む。)を実施し、根拠に基づく政策立案(EBPM)のプロセスの習得を図ります。

### 1 目的

若手職員を対象に、根拠に基づく政策立案(EBPM)による政策形成能力の向上を図ります。

#### 育成する人材の到達目標

- ① 根拠に基づく政策立案(EBPM)のプロセスの理解
- ② 政策法務の目的・効果及び条例立案の基本理解
- ③ 政策立案・推進に必要なコミュニケーション、プレゼンテーション技術の習得
- ④ 広い視野の獲得及びネットワークの構築

### 2 対象者・予定人数

受講時年齢：概ね25歳～34歳の職員 30人予定

※ 年齢は、派遣元自治体の推薦を尊重し、柔軟に対応します。

※ 「主任」とは「その任務を主として担当する人」の意味であり、実際の職位を表すものではありません。

### 3 実施期間・申込期限

令和5年6月26日(月)～7月21日(金)

申込期限：5月19日(金)

### 4 科目・時間・講師・概要 ⇒ 別紙「研修科目・講師名簿(予定)」のとおり

### 5 研修会場

公益財団法人 東北自治研修所(東北自治総合研修センター内)

〒981-3341 宮城県富谷市成田二丁目22-1(アクセスは、東北自治総合研修センターHPを参照してください。)

TEL:022-351-5771 FAX:022-351-5773

### 6 宿泊先

研修は、全寮制で行います。

宿泊先は、東北自治総合研修センター内の宿泊施設「青葉寮」(全室個室)です。週末は、外泊が可能です。

### 7 経費

(1) 研修受講料は、無料です。(東北6県の負担金により、実施しています。)

(2) 青葉寮(宿泊施設)利用負担金

4,100円/泊 × 25泊 = 102,500円(税込) ※食事代は、別途必要です。

・ 研修終了後に発行する請求書により、貴機関から指定口座へ振込み願います。

- ・ 前泊・後泊する場合は、4,100円/泊（夕食・朝食無し）を追加します。また、外泊する場合であっても、負担金は減額いたしません。

### (3) センター内食堂での食事

- ・ 1週間を超える長期研修等以外の宿泊は給食制（夕・朝食含む宿泊）としていますが、主任級職員研修は長期研修のため、宿泊負担金と食事代を別に取扱います。夕・朝食を希望する受講者は、受講決定時の案内に従い、所定の様式で申込みください。昼食の事前申込は、不要です。

〈参考定食価格（税込）：朝食550円、昼食650円、夕食820円 詳細は、東北自治総合研修センターHPを御覧ください。〉

### (4) 準備物

- ① 書籍等：研修のテキストとして、事前に準備いただく書籍は、次のとおり予定していますが、受講決定時に改めてお知らせします。
  - ・ 地方自治小六法 令和5年度版（学陽書房）4,400円（税込）又は、自治六法 令和5年度版（ぎょうせい）4,400円（税込）
- ② パソコン：マイクロソフトオフィス又は互換ソフト使用可、Wi-Fi接続可（IP設定は自動）のもの
- ③ その他：共済組合員証、寮生活に必要な日用品等。詳細は、受講決定時にお知らせします。

### (5) 現地調査経費

- ・ 現地調査の交通費として、数千円が必要となる場合があります。調査先は、グループで選定します。

## 8 開・閉講式

- (1) 開講式：令和5年6月26日（月）午後1時から ※正午までに、受付してください。
- (2) 閉講式：令和5年7月21日（金）午後1時から

## 9 新型コロナウイルス対策

国の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」及び宮城県の対処方針に対応した感染防止対策を行います。詳細は、受講決定時にお知らせします。

## 10 施設の概要

- 研修棟：講堂1室、教室7室、演習室20室、図書室〔蔵書約6,600冊、パソコン(インターネット接続)・DVD〕、ラウンジ8室等 / Wi-Fi対応
- 宿泊棟：宿泊室250室(うち身障者用3室)、娯楽室、談話室、大・中浴場(シャワールームあり)、食堂、売店、/ 有線LAN・Wi-Fi対応
- 屋内外施設：体育館(バレーボール・卓球等)、テニスコート、駐車場(270台)

※詳細は、東北自治総合研修センターのホームページをご覧ください。

## 11 連絡先

### 公益財団法人 東北自治研修所

〔東北6県の自治体職員の資質・能力の向上を図るため、6県の出資により設立された法人です。〕

URL：http://www.thk-jc.or.jp/thk-index.htm TEL：022-351-5771 FAX：022-351-5773

担当：阿部幸信、佐藤祐美子 E-mail：kensyu@thk-jc.or.jp

	科 目	時間	回	講 師	概 要
基本 科目 31h	地方自治法	10	3	東北大学大学院 教授 石山英顕	〈講義形式〉 ・ 地方自治法の基本 ・ 地方分権改革以降の地方自治制度
	政策形成能力開発	14	4	(株)行政マネジメント研究所 専任講師 兼松方彦	〈講義, グループ演習〉 ・ 政策形成の本質, プロセス, 手法
	コミュニケーション・ プレゼンテーション	7	2	(株)話し方研究所 講 師	〈講義, グループ演習〉 ・ コミュニケーション及びプレゼンテーション能力向上に必要な理論と技法
演習 科目 85h	政策法務	23	7	横浜国立大学大学院国際社会科学 学研究院 教授 板垣勝彦	〈講義, グループ演習, 発表・講評〉 ・ 政策法務の目的・効果 ・ 地方公共団体の自治立法権の理解 ・ 法制執務 ・ 課題事例研究演習 ・ 条例立案演習
	少子・高齢社会の政策 戦略	15	5	東北大学大学院経済学研究科 教授 同 高齢経済社会研究センター センター長 吉田 浩	〈講義, グループ演習, 発表・講評〉 ・ 少子・高齢社会の現状及び自治体財政・ 政策に及ぼす影響 ・ 自治体の将来人口推計演習 ・ 福祉政策の人口・財政等への影響に関する 推計演習
	地域経済活性化	44	14	(株)価値総合研究所 主席研究員 総務省地域力創造アドバイザー 鴨志田 武史	〈講義, グループ演習(現地調査含む), 発 表・講評〉 ・ 根拠に基づく政策立案(EBPM)のプ ロセス ・ 地域経済活性化をテーマにした政策立案 グループ演習
	地域経済分析システム (RESAS)の活用	3	1	経済産業省東北経済産業局 総務企画部企画調査課 職 員	〈演習〉 ・ 地域経済分析システム(RESAS)の基 本操作, 活用事例, 演習
講 話 6h	東北まちづくりオフサ イトミーティング	3	1	山形市教育委員会社会教育少年 課 課長 後藤好邦	〈講話〉 ・ 自治体の枠を超えて, 行政マンのネット ワークを構築, 情報を共有し, 研鑽を勉 める自身の活動
	住民協働による地域活 性化	3	1	(有)プランニング開 代表取締役 新田 新一郎	〈講話〉 ・ 住民協働により地域を活性化する手法等 に関する講師の豊富な体験談
他 9h	スピーチ演習ほか	4	16		スピーチ演習, 事務連絡
	開講式, 閉講式ほか	5	2		開講式, 閉講式, オリエンテーション
	計	131	56		

## 第10回 主任級職員研修（令和4年度実施）受講者の感想より

### 【コミュニケーション・プレゼンテーション】

コミュニケーションやプレゼンテーションといったものには、苦手意識があったが、演習を通じ、その具体的な手法や考え方を学ぶことができ、有意義だった。

（県職員 事務職）

### 【政策形成能力開発】

政策形成にかかわったことがなかったため、どのような手順で何をどう考えればいいのか知識が一切ありませんでした。グループ演習を通してそのプロセスを体験でき、非常に有意義でした。

（県職員 事務職）

### 【政策法務】

これまで政策形成系の研修は何回か受講しましたが、実際に条例作成段階までの研修はなかったのが、この研修は条例作成における検討プロセス、その効果等について具体的に学ぶ機会として有意義な研修でした。特に条例の文法とその組み立て方は非常に勉強になりました。

（市町村職員 事務職）

### 【地域経済分析システム（RESAS）の活用】

この研修に来るまでRESASを知りませんでした。講義を受けながら実際に操作してみて、地域の状況を様々な視点から比較・分析できるルールだと知りました。今後、実際に触りながら慣れていきたいと思います。

（市町村職員 事務職）

### 【少子・高齢社会の政策戦略】

自身の自治体も人口減少が急激に進んでいることから、非常に興味深い科目でした。経済的な視点から「公共財」の定義とその意義、現代から将来の社会的課題に触れ、自治体にできる対応策について大きなヒントを得ることができました。

（市町村職員 事務職）

### 【地域経済活性化】

地域の現状データに基づいて、その課題を解決するための効果的な政策を考えるのは、難しかったですが、とても勉強になりました。

また演習を通じて地域経済循環分析のデータの見方や、地域経済波及効果分析ツールの使い方を学ぶことができ、今後の業務にも活用していきたいと思いました。

（市町村職員 事務職）



地域経済分析システム（RESAS）の活用 演習



地域経済活性化 グループ研究